

希望が丘文化公園将来ビジョンの策定に向けた進め方について

1 将来ビジョンの策定の趣旨

希望が丘文化公園は年間 80 万人以上の方が来園し、そのうち、青年の城や野外活動センター、陸上競技場などの施設の利用者も 20 万人を超えている中、次のような背景から将来像・方向性を明確にする将来ビジョンの策定が必要である。

○昭和 47 年の開園時には「県民に憩いの場を提供し、広く県民文化、体育の向上を図る」場として設置されたが、開園後 40 年以上が経過していることを踏まえ、社会情勢や利用者のニーズの変化に応え、公園の特性を活かしたより満足度の高い公園づくりが求められている。

○今後、東京オリンピック・パラリンピック、本県での国民体育大会をはじめとした大規模なスポーツイベントが開催されるなどスポーツ・健康づくりの機運が高まっている。

○国体主会場選定専門委員会から「本来のコンセプトや地の利を活かし、将来のスポーツ推進に向けて施設のあり方や活用方法の検討」が期待されている。

○県の行政経営方針において、現在管理運営している(公財)滋賀県文化振興事業団は、法人のあり方について方針決定することとしている。

2 これまでの経緯

時期	内容
H26 5.20	国体主会場選定専門委員会から付帯意見
H26 11.13	第 1 回希望が丘文化公園将来ビジョン関係課長会議の開催 (議題) 将来ビジョンの策定に向けた進め方について
H26 11.25	政策・土木交通常任委員会で将来ビジョンの策定に向けた進め方について報告
H26 12.4	第 1 回希望が丘文化公園将来ビジョンワーキンググループの開催 (議題) 希望が丘文化公園の経緯、現状、強みと課題について
H27 3.24	第 2 回希望が丘文化公園将来ビジョンワーキンググループの開催 (議題) 希望が丘文化公園将来ビジョン案について

3 今後の進め方

時期	内容
H27 3.27	第 1 回希望が丘文化公園将来ビジョン検討懇話会の開催 (議題) 希望が丘文化公園将来ビジョン案について
H27 4	第 3 回ワーキンググループの開催
H27 5	第 2 回関係課長会議の開催
H27 6	第 2 回検討懇話会の開催
H27 7	第 4 回ワーキンググループの開催 第 3 回関係課長会議の開催
H27 8	第 3 回検討懇話会の開催 将来ビジョンの策定

※検討の進捗状況に応じて、常任委員会へ報告

※希望が丘利用者懇話会、運営推進協議会の開催時に意見聴取

※パブリックコメントの実施